

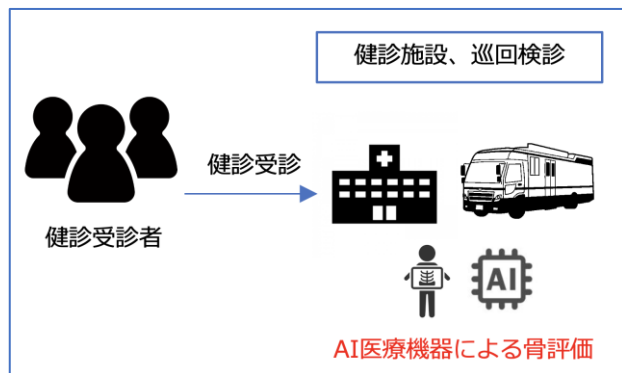
iSurgery株式会社

基礎情報

- 代表者 佐藤洋一
- URL <https://www.isurgery.tech/>
- 所在地 東京都中央区日本橋堀留町1-9-10
- 連絡先 info@isurgery.site

事業概要

- 整形外科医主導の医療AIスタートアップ企業です。
- 「骨粗鬆症患者の早期発見・早期治療により骨折や要介護状態を減らし、健康寿命を伸ばす。」をビジョンに掲げ、胸部X線写真から骨を検査するAI医療機器を開発、販売しています。
- どこでも、誰でも、手軽に骨粗鬆症の評価を受けられる未来を目指して。私たちは、骨粗鬆症診療のDXにより、高齢化社会が抱える長年の課題にブレイクスルーを起こすことを目指します。



実証実験概要・目標

- 健診機能を持つ医療機関と連携して、「胸部X線写真からのAI骨検査」をオプションメニューとして受診者に提供し、その実施過程や導入効果を検証し、提供方法の刷新を図ります。
- 実証実験での試行錯誤を通じて、医療機関での医療機器の導入方法の最適化と、検査実施による社会的効果の最大化（骨粗鬆症患者の発見）を目指します。
- 医療機器を全国にて販売を行う際、本実証実験で得られた知見を、モデルケース“YAMANASHIモデル”として、利活用させていただきます。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- 医療機関：AI医療機器の導入検討、トライアル使用
- 自治体：肺がん検診と連携することによるスクリーニング、保健指導等の試み
- 企業や健保組合：企業健診のメニューへの導入検討、トライアル運用

エアロダイナミクス株式会社

基礎情報



■代表者 鹿谷 幸史

■URL <https://aerodyne.group>

■所在地 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティW22F

■連絡先 infoadj@aerodyne.group

事業概要

- 当社は、ドローンによるインフラ点検事業でGlobal No1.の評価をいただいているエアロダイナミクスグループの日本法人です。日本においては、インフラ点検事業やドローン物流事業に取り組んでいるほか、弊社海外ネットワークを通じて、海外の最新ドローン活用技術をご紹介や、日本でのドローンを使ったオペレーションを海外施設（プラントなど）に展開するためのご支援など、日本企業と海外市場を繋ぐご支援をさせていただいております。



実証実験概要・目標

- 本事業では、ドローン目視外飛行に向けた上空LTEマップ作成事業として、上空LTE状況を可視化し、「推奨飛行ルート」を効率的に作成するとともに、ドローン運航管理システムを通じてルートを提供することを目指します。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- ドローン物流市場はまだ黎明期で、市場の立ち上がりには、インフラ整備と、民間事業者による物流実証実験の両輪が必要になります。ドローン物流のインフラ整備に関心のある自治体様や、長期的にトラック物流のドローン自動配送への置換にご興味のある物流事業者様と、ぜひ連携させていただきたいです。

輝翠TECH株式会社

基礎情報

■代表者 ブルーム タミル

■URL <https://kisuitech.com>

■所在地 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-40

■連絡先 Contact@kisuitech.com

事業概要

- 農業用AIロボット開発・販売
- 農業体験サービス
- ロボットサービス
- データ収集・分析サービス



実証実験概要・目標

- 消費者が山梨県のぶどう農場にあるロボットを遠隔操作し、自宅にいながら農場を訪問できる「農場訪問サービス」をテストする。
- 追従走行と収穫場所から集荷場所までの自動走行により、作業負荷の軽減と運搬作業の削減を実現する。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- 圃場でのテストに協力していただける山梨県内のぶどう農家（生食用・ワイン用）のご紹介
- 代理店としてロボットを販売する。あるいはサポート拠点としてロボットのメンテナンス・修理を行っていただく
- 自治体・JAとロボットを活用した持続可能なぶどう産業についてセミナーを行う
- 山梨大学とロボットに適したぶどう農場や病害虫の発見に向けて共同研究を行う

テラスマイル株式会社

基礎情報

■代表者 生駒 祐一

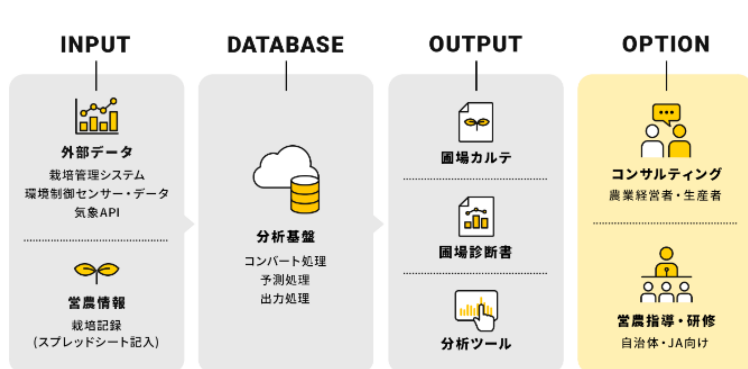
■URL <https://terracemile.jp/>

■所在地 宮崎県宮崎市橘通西1-5-30

■連絡先 ra.div@terasuma.jp

事業概要

- 農業における膨大なデータを活用できる農業データ情報基盤「RightARM（ライトアーム）」をクラウドサービスとして企画・開発・運営し、農業経営を安定化・加速化させる営農支援を提供
- 「RightARM」は、営農関連データを「自動的」に集め「戦略的」に情報活用し「わかりやすく」伝えるサービスとして、農業経営者や地方自治体・JAの営農指導員向けにサービスを提供



実証実験概要・目標

- 果樹版RightARMの開発および山梨県内の果樹農家、全国の果樹農家の経営改善に貢献
 - 農業におけるデータ利活用人材育成への貢献
- 上記二つを達成するべく、「データ分析基盤・RightARMの提供」、「データ分析支援」、「ワークショップ・研修会によるデータ利活用ができる農業人材の育成支援」3つに取り組む。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- 農業データの利活用に関心を持つ農業生産者やJAの紹介
- 農産物を取り扱う小売、流通企業者視点での意見交換・事業連携（将来的に、生産側のデータと消費データを繋ぎ合わせることで食料供給システムの再構築を図りたい）

株式会社PREVENT

基礎情報

■代表者 萩原 悠太

■URL <https://prevent.co.jp/>

■所在地 愛知県名古屋市東区葵1-26-12
IKKO新栄ビル 9F

■連絡先 hagiwara.yuta@prevent.co.jp

事業概要

□ 医療データ解析

□ 生活習慣病の重症化予防支援事業等

- 血管病の発症を予防するということが主目的とした、オンライン完結型生活習慣改善支援
- 要治療者に対する受診勧奨事業

課題①

実施事業の中長期での
インパクト評価が難しい



課題②

医療データの取り扱うために
高い専門的技術が必要



People illustrations by Storyset

本事業で解決すべき課題

Do
計画した保健
事業の実行

①Check

過去事業の中
長期でのイン
パクト評価

今回の新しい
チャレンジ

③Plan

自治体独自の健康課
題ならびに優先順位
に合わせた事業設計

②Action

それぞれの事
業の期待効果
の算出

本実証で検証するイメージ

実証実験概要・目標

□ 目的：自治体の健康施策および保健事業の医療費適正化に対するインパクト評価ツールの実証を行い、健康計画や保健事業の設計に対する有効性の検証を行うこと

□ 概要：自治体の保有する医療データ（特定健診・レセプトデータ、保健事業実績）を活用し、過去実施した保健事業の医療費適正化や疾病予防効果を評価。その結果を踏まえ今後どのような保健事業を実施していくべきかについてのレポートを実施する。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

□ 本実証結果を受け、山梨県内での他の市町村国民健康保険における導入検討

□ 各市町村ごとの健康課題に応じたソリューションの共同提案

株式会社マリスcreative design

基礎情報

■代表者 代表取締役 和田康宏

■URL <http://maris-inc.co.jp/>

■所在地 東京都墨田区八広4-36-21
GarageSumida2F 01号室

■連絡先 yasuhiro.wada@maris-inc.co.jp

事業概要

- 視覚障がい者は、外出するのに、横断歩道の事故、障害物、駅ホーム転落事故など怖い場面がたくさんあり、気軽に外出することができない。そして、白杖以外は効果的な機器がない。駅ホーム転落事故も防ぎたい団体(国交省/鉄道会社)が極めて多い。災害、コロナ禍でも、一人で外出、逃げる、が必要とされる。そこで単独歩行を実現する歩行アシストAIカメラ「seeker」の開発を行っている。



実証実験概要・目標

- 山梨県内の横断歩道、商業施設で実証実験を行いたいと考えております。そして、様々な横断歩道の学習を蓄積した上で、AIの認識率を高めると、効果確認を行わせて頂きたいと思えます。実験は、まずは健常者が身につけ、歩き、検出率を見ていく。健常者の実験で安全と判断したところで、視覚障がい者に実験を行っていただきたいと思えます。

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- 視覚障がい者団体などの障がい者団体との協議、連携
- 介護施設等との連携
- 本事業やプロダクトに興味のある大学、研究機関との連携（山梨大学など）

ユニテッドシルク株式会社

基礎情報

■代表者 河合 崇

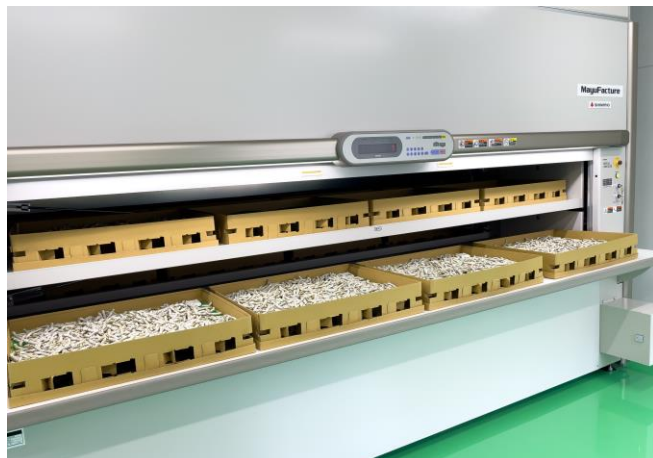
■URL <https://united-silk.co.jp/>

■所在地 愛媛県松山市大街道3-2-8

■連絡先 Takuya.hara@united-silk.co.jp

事業概要

- スマート養蚕システムによる蚕の人工飼育～繭の育成（自社工場）
- 繭から「水溶液」や「パウダー」を精製する（自社工場）
- 地域商社として地方の特長を活かした活性化に取り組む



実証実験概要・目標

- 山梨型ハイブリッド養蚕の確立
- 「選べるシルク」より、フードへのアプローチ
- 県内メディアならびにSNSを駆使して新たなシルク産業の発信

山梨県企業や自治体に対して希望する連携内容

- ハイブリッド養蚕が確立されれば、養蚕農家の省施設化/省人力化が可能となり、持続可能な事業に展開できる。一過性のイベントで終わらせないためにも、小学生/中学生/高校生と連携したい。
- シルクを身近に感じる環境作りが肝要であり、少なからず社会貢献も可能となるので、従来からある地元の物産品とシルク原料とのコラボ商品を開発したい。
- 定期的・継続的な県内メディアの情報発信することで生活の中に「当たり前にあるモノ」としてシルクの認知度の定着させたい。